

再生繊維・半合成繊維織物

□適用範囲 この基準は、再生繊維・半合成繊維50%以上の織物に適用する。

1. 生地基準

注) ○印 必須項目 無印 選択項目

試験項目		試験方法	判定基準		備考	
○組	成	JIS L 1030	表示に対して適正であること。			
	織度又は番手 密度・組織 幅・長さ・重さ		注文書通りであること。			
	外観		別に定める外観検査基準に適合していること。			
○表	示		適正であること。		法律規制があるものはそれに従っていること。	
染 色 堅 ろ う 度	○耐	光 JIS L 0842 第3露光法	一般	プリント		
			4級以上 〔淡色・鮮美色は3 級以上〕	3-4級以上 〔淡色・鮮美色・防 抜染は3級以上〕		
	○洗	濯	JIS L 0844 再生繊維 A-1号 半合成繊維A-1号	変退色4級以上, 汚染3級以上		水洗いするものに適用。
	○	汗	JIS L 0848	変退色4級以上, 汚染3級以上	変退色4級以上, 汚染3級以上 〔防抜染は汚染2- 3級以上〕	
	○摩	擦	JIS L 0849 II形 学振形法	乾燥4級以上, 湿 潤3級以上 〔濃色は乾燥3-4 級以上, 湿潤2- 3級以上〕	乾燥3-4級以 上, 湿潤2-3級 以上 〔防抜染は湿潤2級 以上〕	淡色のものは除外。
	○	ホットプレッ シング	JIS L 0850 B-2号湿潤弱	変退色4級以上, 汚染4級以上		アイロン掛け不要のものは除外。
	○	ドライクリ ーニング	JIS L 0860 A法	変退色4級以上, 汚染3-4級以上		ドライクリーニングするものに適用
		色泣き	上昇法 (2時間)	無いこと。		
		窒素酸化物	JIS L 0855	強試験 変退色3級以上 弱試験 変退色4級以上		半合成繊維に適用。
		昇華	JIS L 0854	変退色4級以上, 汚染3-4級以上		半合成繊維に適用。

試験項目		試験方法	判定基準		備考
染色堅ろう度	塩素処理水	JIS L 0884 A法	3級以上		再生繊維に適用。
	汗耐光	JIS L 0888 B法	3級以上		インナー用生地は除外。
物性	寸法変化率	○浸せき D法 石けん液浸せき法	再生繊維 2～5% 半合成繊維 2～4%		ゴム編のよこ方向は除外。
		○プレス H-2法 蒸熱オープン法	±2.5%以内		
		○ドライクリーニング J法 ドライクリーニング法	±2%以内		ドライクリーニングするものに適用。
	○引張強さ	JIS L 1096 A法 ストリップ法	たて200N以上, よこ150N以上 (薄地・サッカーはたて・よこ150N以上)		
	○引裂強さ	JIS L 1096 D法 ペンジュラム法	たて・よこ7N以上		
	○滑脱抵抗力	JIS L 1096 縫目滑脱B法	たて・よこ3.0mm以内, 荷重: 薄物49N, その他117.7N		粗密度のものは除外。
	ピリング	JIS L 1076 A法 ICI形法	3級以上		毛と合成繊維合わせて30%以上のものに適用。起毛品は除外。
	パイル保持性	JIS L 1075 A法 ユニバーサル形法	摩擦500回…60%以上		カットパイル織物に適用。
	リバーズ	JIS L 1901		3級以上	
	バブリング	毛検法	30分後 3級以上, 24時間後 4級以上		
カーリング	毛検法	5分後 3級以上, 24時間後 3級以上			
○はっ水度	JIS L 1092 スプレー試験法	法律規制による前処理後 2点以上		はっ水表示品に適用。	
防しわ性	JIS L 1059 モンサント法	85%以上			
安全性	樹脂加工剤・防虫加工剤・抗菌加工剤・防かび加工剤・難燃加工剤・蛍光増白剤・衛生加工剤・柔軟加工剤			法律規制又は行政指導に従っていること。	